

REFERENCE

DS

784

M28

滿洲国年表



滿洲国史編纂委員会編

目次

(昭和六年)	一
(昭和七年)	三
大同元年(昭和七年)	四
大同二年(昭和八年)	一七
大同三年(昭和九年)	二七
康德元年(昭和九年)	三〇
康德二年(昭和十年)	四一
康德三年(昭和十一年)	五三
康德四年(昭和十二年)	六五
康德五年(昭和十三年)	八二
康德六年(昭和十四年)	九四
康德七年(昭和十五年)	一〇八
康德八年(昭和十六年)	一二三
康德九年(昭和十七年)	一四一
康德十年(昭和十八年)	一五九
康德十一年(昭和十九年)	一七五
康德十二年(昭和二十年)	一九二

昭和六年

(中華民國二十年
西曆一九三一年)

九・一八	柳條溝に於て滿鉄線爆破さる	満日	九、一九
・一九	関東軍司令部旅順より奉天に進駐	"	九、二〇
"	日本軍奉天城占領	"	九、二〇
"	関東軍司令官本庄繁中将事変に關し安民の布告を發す	"	九、二〇
・二〇	土肥原賢二大佐を奉天臨時市長に任命	"	九、二二
"	日本軍南嶺及び寛城子占領	"	九、二二
"	參謀本部第二部長建川美次少将参加、関東軍司令部に於て重要會議を開く	"	九、二二
"	日本政府は関東軍に對し事變の不拡大方針を訓令	"	九、二二
・二二	日本軍吉林に不戦入城	"	九、二二
"	奉天、大連その他にて非常在滿邦人大会開催	満建	74
"	朝鮮軍嘉村達次郎少将の率いる混成旅団出動し奉天到着ヤマトホテルに司令部を置く	満日	九、二三
・二三	関東軍司令官事變に關し全滿駐屯部隊に訓示を与う	満建	75
"	本庄関東軍司令官は北平滞在中の張學良に「速かに帰奉して自ら東三省の治安維持に当られたき」旨を勸告	満建十年史	
・二四	國際連盟理事会に對し日本政府より事變につき声明を發す	満日	九、二五

昭和六年九月

所 版
.....
有 權

滿洲国年表

頒 價 250 円

昭和三十一年六月二十五日印刷
昭和三十一年七月一日發行

發行所 財団法人

滿蒙同胞援護會

(滿洲国史編纂委員會)

東京都千代田区有楽町一丁目二番地

電話東京 (59) 四六五四番

印刷所 有限会社三辰社

東京都千代田区飯田町二丁目二〇番地
電話九段(33)三三八五番